

2. 一般会計のはなし

【収入編】

市の収入について



まずはじめに、沖縄市の収入について勉強してみよう。



収入ってなんだったっけ？

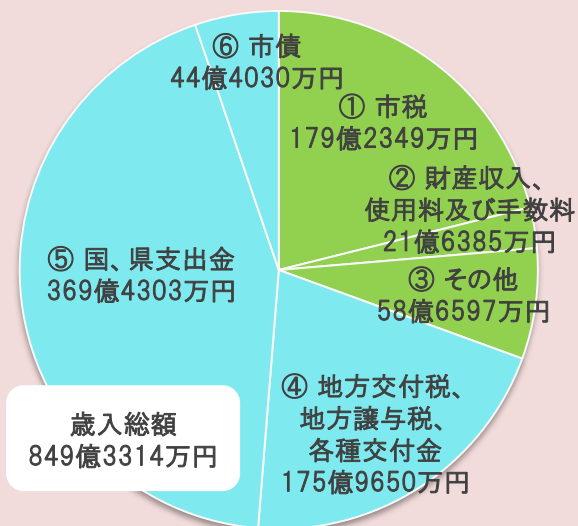


収入とは、入ってくるお金のことじゃ。そして、1年間に

入ってくるお金をまとめたものを「歳入予算」というのじゃ。

それでは、今年の一般会計の歳入予算をみてみよう。

令和7年度 一般会計歳入予算



歳入の各項目の説明【全体に占める割合】

自主財源	①市税【21.1%】	みなさんが沖縄市に納める税金です。
	②財産収入、使用料及び手数料【2.6%】	市の土地等を貸した際の賃料や、市の施設の利用料、証明書を発行する際にいただいたお金などです。
	③その他【6.9%】	市の貯金（基金）からの取り崩しや、寄付金などです。
依存財源	④地方交付税、地方譲与税、各種交付金【20.7%】	みなさんが国や県に納めた税金の一部です。使いみちは市で決めることができます。
	⑤国、県支出金【43.5%】	みなさんが国や県に納めた税金の一部です。国や県からの支援で使いみちが決まっています。
	⑥市債【5.2%】	国や民間の金融機関などから借り入れるお金です。

これが、沖縄市の1年間の歳入じゃ。1年間で850億円近くのお金が入ってきているのじゃな。ちなみに、自主財源とは、沖縄市が自力で調達できるお金で、依存財源は沖縄市以外の組織に頼っているお金のことじゃな。



沖縄市にはたくさんの収入があって、僕らの税金や、僕らが沖縄市の施設を使った時の利用料金以外にも、国や県からもらえるお金や、国や銀行からの借金などがあるんだね！少し難しかったけど、よ～く分かったよ♪

借金（^{しさい}市債）について



ところでさあ、さっきの歳入予算の中で、国や銀行などからお金を借りている「市債」ってあったけど、これって「借金」のことかなあ？



まあ、そういうことじゃな。



でも、借金しちゃって大丈夫なの！？



学校などの大きな建物を作る時には、たくさんのお金が必要になるのじゃ。建物を作る年に、1年間に入ってくるお金から、1年間に行う仕事に使うお金を除くと、どうしても足りないことがあるのじゃ。そのような時に、借金をしてお金を準備しているのじゃ。

その他にも理由があって、学校などの大きな建物は何十年もの長い間みんなでするものだから、今使う人だけじゃなくて、これからあと使う人も含めてみんなで平等にお金を負担してもらうために、借金をしているのじゃ。

借りたお金は、これまた何十年という期間をかけて返していくのじゃ。



なるほど！借金をするのはちゃんとした理由があるんだね！納得したよ♪

市債残高の状況

